

BACCALAURÉATS GÉNÉRAL ET TECHNOLOGIQUE

SESSION 2019

JAPONAIS

LANGUE VIVANTE 2

Séries **ES** et **S** – Durée de l'épreuve : **2 heures** – coefficient : **2**

Série **L** Langue vivante obligatoire (LVO) – Durée de l'épreuve : **3 heures** – coefficient : **4**

Série **L** LVO et Langue vivante approfondie (LVA) – Durée de l'épreuve : **3 heures** – coefficient : **8**

Séries **STD2A, STHR, STI2D, STL, STMG** et **ST2S** – Durée de l'épreuve : **2 heures** – coefficient : **2**

ATTENTION

Le candidat choisira le questionnaire correspondant à sa série :

- Série **L (LVA Y COMPRIS)** : questionnaire pages 4/6 à 5/6.
 - Séries **ES, S, STD2A, STHR, STI2D, STL, STMG** et **ST2S** : questionnaire pages 6/6.
-

L'usage de la calculatrice et du dictionnaire n'est pas autorisé.

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.
Ce sujet comporte 6 pages numérotées de 1/6 à 6/6.

Répartition des points

Compréhension de l'écrit	10 points
Expression écrite	10 points

Notion : Lieux et formes du pouvoir

江戸時代の学校

Texte 1

日本の教育システムができたのは、明治時代（1868-1912）からです。それ以前の江戸時代（1603-1868）には、学校として「藩校」、「寺子屋」、そして「私塾」という所がありました。

5 藩校とは、侍の子どものためにつくられた学校で、ここで、侍の子どもは侍になるために、儒学¹を中心にいろいろ学んでいました。

また、寺子屋という学校もありましたが、この学校は庶民²の子どもに、簡単な読み書きや算盤³などを教えていました。寺子屋は、とても人気があって、江戸時代の終わりには全国で1万5千か所あったと言われています。

10 また、私塾と呼ばれるのは、藩校や寺子屋と違って、成人のための学校でした。ここでは、洋学（西洋の学術や文化についての研究）、兵学⁴、医学などの、いろいろな学問⁵を教えました。学問の内容は学校によって違っていました。江戸時代は、学問がたいへん盛んで、当時の日本人の識字率⁶は世界で一番高かったそうです。それは、明治時代に入って、日本の近代化がとても早かったことの、大きな原因だと言えるでしょう。

信州大学教育学部の e-Learning 授業 サイト、『江戸期の教育機関』より

¹ 儒学 : Confucianisme

² 庶民 : Peuple, masse populaire

³ 算盤 : Boulier (pour calculer)

⁴ 兵学 : Sciences militaires

⁵ 学問 : Savoirs, connaissances

⁶ 識字率 : Taux d'alphabétisation

Texte 2

寺子屋は、江戸時代の中ごろにできましたが、ここに通ったのは、5～6才から12～13才の子どもたちでした。江戸時代は、商業や工業、農業などが発展してきたため、普通の人にも勉強が必要になりました。町人や農民の子どもたちは寺子屋で仕事や生活に必要なことを学ぶことができました。江戸・京都・大阪のような大都市では、女の子も多かったので、お茶・生け花・裁縫⁷なども教えていました。先生の多くは、お坊さん⁸やお医者さんなどの、一般の人でしたが、自分の家の一部を教室にして、20～30人の子どもを教えていました。生徒が100人以上の教室もあったそうです。その当時は、勉強をするもしないも自由でしたが、江戸時代の終わりごろには、子どもの半分ぐらいが寺子屋で勉強していたと言われています。

学研キッズネット「江戸時代の寺子では、どんなことを勉強していたの？」より

⁷ 裁縫 : Couture

⁸ お坊さん : Bonze, moine

Travail à faire par les candidats de la série :
L – Langue vivante 2 / LV2 Langue vivante approfondie

- 1) Les candidats traiteront le sujet sur la copie qui leur sera fournie en faisant apparaître la numérotation.
- 2) Ils composeront des phrases complètes chaque fois qu'il leur est demandé de rédiger les réponses, sauf indication contraire.
- 3) Les citations seront limitées aux éléments pertinents et suivies de la mention de la ligne.

I. COMPRÉHENSION DE L'ÉCRIT

Répondez aux questions suivantes en japonais.

1. 藩校^{はんこう}は、どんなことを教えていましたか。
2. 江戸時代^{えど}の学校は身分^{みぶん}によって分かれていますか、誰がどこで勉強してましたか。（身分：rang, statut social）
3. 私塾^{しじゅく}は、どうして大学のようなものだったと言えますか。
4. 寺子屋^{てらこや}はいつごろ生まれましたか。
5. 江戸時代の「庶民^{しよみん}」とは、どんな人を表していますか。例を2つあげてください。
6. 寺子屋^{てらこや}では、どんなことを学んでいましたか。
7. 江戸時代の寺子屋^{てらこや}が人気だったのは、どうしてだと思いますか。
8. 寺子屋^{てらこや}の先生は、どこで授業^{じゅぎょう}をしていましたか。
9. 江戸時代の学校は、義務教育^{ぎむ}学校でしたか。テキスト2のどこから分かりますか。（義務：obligatoire）

Seuls les candidats composant au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) en japonais traiteront également la question suivante :

10. 江戸時代^{えど}の寺子屋^{てらこや}は、明治時代にどのような影響^{えいきょう}を与えましたか。

II. EXPRESSION ÉCRITE

Afin de respecter l'anonymat de votre copie, vous ne devez pas signer votre composition, citer votre nom, celui d'un camarade ou celui de votre établissement.

Seuls les candidats de la série L qui ne composent pas au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) traiteront la partie A.

A) Traitez l'UN des deux sujets suivants, en **300 signes** environ. Indiquez sur votre copie le numéro du sujet choisi.

1. 今の時代、日本の学校とフランスの学校は何が違ちがうと思いますか。
2. あなたの学校生活の中でいちばん楽しかったこと、うれしかったことは何ですか。学校でのいい思い出について書いてください。

Seuls les candidats composant au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) en japonais traiteront la partie B.

B) Traitez le sujet suivant, en **400 signes** environ.

あなたの理り想そう的てきな学校教育は何でしょうか。

Travail à faire par les candidats des séries :
ES, S, STD2A, STHR, STI2D, STL, STMG et ST2S – Langue vivante 2

- 1) Les candidats traiteront le sujet sur la copie qui leur sera fournie en faisant apparaître la numérotation.
- 2) Ils composeront des phrases complètes chaque fois qu'il leur est demandé de rédiger les réponses, sauf indication contraire.
- 3) Les citations seront limitées aux éléments pertinents et suivies de la mention de la ligne.

I. COMPRÉHENSION DE L'ÉCRIT

Répondez aux questions suivantes en japonais.

1. 江戸時代の学校は身分によって分かれていましたが、誰がどこで勉強していましたか。（身分：rang, statut social）
2. 寺子屋では、どんなことを学んでいましたか。
3. 江戸時代の寺子屋が人気だったのは、どうしてだと思いますか。
4. 寺子屋の先生は、どこで授業をしていましたか。
5. 正しいものに（○）、正しくないものに（×）をつけてください。（Vous reporterez les réponses sur votre copie.）
 - a. 寺子屋は、小学校・中学校のようなものでした。
 - b. 私塾は、小学校・中学校のようなものでした。
 - c. 藩校は、大学のようなものでした。
 - d. 私塾は、大学のようなものでした。
6. 江戸時代の学校は、義務教育学校でしたか。テキストのどこから分かりますか。（義務：obligatoire）

II. EXPRESSION ÉCRITE

Afin de respecter l'anonymat de votre copie, vous ne devez pas signer votre composition, citer votre nom, celui d'un camarade ou celui de votre établissement.

Traitez l'**UN** des deux sujets suivants, en **200 signes** environ. Indiquez sur votre copie le numéro du sujet choisi.

1. 今の時代、日本の学校とフランスの学校は何が違うと思いますか。
2. あなたの学校生活の中でいちばん楽しかったこと、うれしかったことは何ですか。学校でのいい思い出について書いてください。